

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	02	01	17	0401	国内友好都市交流推進事業		
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-3	生涯学習の推進				
	施策	3	国際都市の推進				
目的	友好都市（神奈川県平塚市・青森県十和田市）との都市交流を推進する。						
対象	花巻市民・友好都市民						
意図	友好都市間の交流を促進する。						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○花巻市友好都市交流委員会が実施する事業に対し補助金を交付する。 花巻市⇒平塚市：平塚市神輿団体との交流ほか 平塚市⇒花巻市：友好都市青少年交流キャンプほか 花巻市⇒十和田市：十和田市への市民ツアーほか 十和田市⇒花巻市：友好都市青少年交流キャンプほか							
市民参画の有無 [対象外]							
市民協働の形態		<input type="radio"/> 共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		<input type="radio"/> 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	友好都市交流事業実施回数	回	計画		20	20	20
			実績		22	28	
②			計画				
			実績				
③			計画				
			実績				
成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	友好都市交流事業参加人数	人	目標		400	400	400
			実績		277	508	
②			目標				
			実績				
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成26年度は、平塚市との友好都市提携30周年、十和田市との25周年の記念の年を迎え、当市において記念式典を開催し、両市から当市へ市民訪問団が来花した。また、平塚市、十和田市においても記念式典が開催され、両市を訪問する花巻市民ツアーを実施した。 この節目の年に合わせた交流が行われたことにより、交流事業参加者数は大きく増加した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市が取り交わした友好都市提携盟約書に基づいて進めている事業であるので、公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	広報紙やホームページ等を活用して、事業の周知方法を改善する余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業内容については、交流相手先と協議・連携しながら進められていることから、事業費を削減することは難しい。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	平塚市及び十和田市との友好都市提携は旧花巻市が始めたものであるが、提携は新市に引き継がれ、どの地域の市民も受益機会に平等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
市民が国内友好都市等の文化を学び、自分たちの文化を再認識するために、市民団体の交流活動の促進、市民ツアーの開催、友好都市交流キャンプ等を行い、友好都市との交流を推進した。		

平成 26 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	17	0401	国内友好都市交流推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,282	1,668		386
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,282	1,668		386

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標

国内交流と国際都市化を推進する。

事業開始の背景・経緯

平塚市とは昭和59年に、十和田市とは平成元年にそれぞれ友好都市提携して以来各分野において交流を行ってきた。

事業概要

○花巻市友好都市交流委員会が実施する事業に対し補助金を交付する。
花巻市⇒平塚市：平塚市神輿団体との交流ほか
平塚市⇒花巻市：友好都市青少年交流キャンプほか
花巻市⇒十和田市：十和田市への市民ツアーほか
十和田市⇒花巻市：友好都市青少年交流キャンプほか

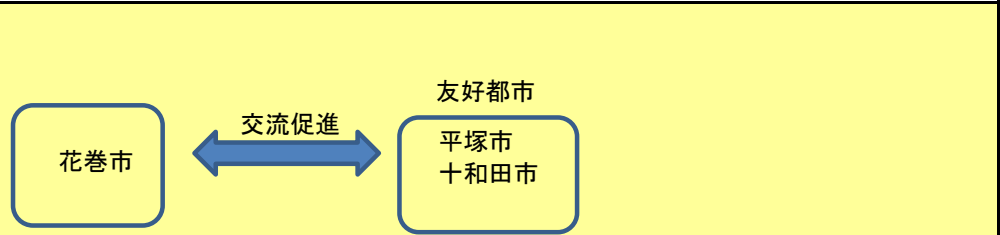
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・花巻市と平塚市、十和田市とが友好都市提携したことがきっかけとなった交流であるが、市民が主体となって交流事業を進めていくことが望ましい。
・平成26年度は、平塚市と30周年、十和田市と25周年の記念事業を行ったため、交流人数が増加した。引き続き事業の周知などに努め、交流の推進を図っていく。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 国際交流室 担当 佐々木奈津枝 内線 410

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○ 友好都市との交流⇒花巻市友好都市交流委員会が実施する事業への補助 1,620千円

- (1) 交流活動の促進（芸術・文化、スポーツ、まつり・イベント、観光・物産）
- (2) 青少年交流事業の実施
 - ① マリン交流参加
 - ② 青少年交流キャンプの実施
- (3) 友好都市の紹介・情報提供事業の実施
- (4) 市民ツアーの実施（平塚市、十和田市）

○ 友好都市マリン交流にかかる随行旅費 48千円